

一宮浄化センター

し尿処理施設精密機能検査業務委託

仕様書

令和 8 年度

一宮浄化センター

## 第 1 章 総 則

(適用)

第 1 条 この仕様書は、一宮浄化センターし尿処理施設精密機能検査業務委託に適用する。受注者は、現場説明書、仕様書、図面に基づいて本市監督員の指示に従い、誠実に施行すること。

(契約関係書類)

第 2 条 受注者は、本委託業務について次の書類を提出すること。

(1) 委託業務着手時に提出する書類

ア 委託業務着手届	1 部
イ 主任技術者等通知書	1 部
ウ 工程表 (委託作業表)	1 部
エ 打合せ記録簿	1 部

(2) 委託業務完了後に提出する書類

ア 委託業務完了通知書	1 部
イ 現地調査写真帳	1 部
ウ 精密機能検査報告書 (A4 くるみ製本成果品)	5 部
エ 成果品 (電子媒体 USB メモリー等)	1 個
オ その他岡山市の指示するもの	

(現場責任者および主任技術者)

第 3 条 受注者は、委託業務における主任技術者及び現場責任者を定めること。それぞれ、建設コンサルタント登録規程別表に掲げる廃棄物部門に係る技術士(ただし、選択科目が廃棄物管理、廃棄物管理計画及び廃棄物処理を含む)の資格を有する者又は登録技術部門が廃棄物部門である R C C M の資格を有する者で、公告に定める開札日時において、3 か月以上継続して所属していることが確認できる者を配置すること。※当該業務の中で、主任技術者と現場責任者は兼ねることはできない。

なお、現場責任者は作業中現場に常駐し、技術上の管理及びその他の管理を行うこと。

(業務手順)

第 4 条 委託業務施行の順序方法については、あらかじめ本市の承認を受けること。

(現状復旧)

第 5 条 委託業務試行中、既設工作物等に損害を与えた場合は、受注者において弁償復旧すること。

(完了検査)

第 6 条 検査員の検査に合格しない場合、受注者は遅滞なく不良箇所の再施行を行い、検査員の再検査を受けること。

(履行期間)

第 7 条 本委託業務の期間は、令和 9 年 2 月 26 日まで。

## 第 2 章 施工細則

### 1. 検査の目的

本検査は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第 5 条」に規定する法定検査であり、施設の機能を保全するため、施設の機能状況、耐用の度合等について精密な検査を行ない、必要に応じて改善・修繕計画などの資料を得ることを目的とする。

- (1) 一宮浄化センター施設改修工事後の処理能力および運転状況の検証。
- (2) 今後の施設運転管理に関する、適正かつ合理的な改善点の提案。
- (3) 機械設備・電気および計装設備の予防保全のための修繕計画の提案。
- (4) 建築躯体の余寿命診断および、修繕計画の提案。

### 2. 施設の概要

#### (1) 建築概要

名称	一宮浄化センター
所在地	岡山市北区一宮 217 番地
敷地面積	18,314.77 m <sup>2</sup>
建築面積	9,372.01 m <sup>2</sup> (令和 8 年 4 月 1 日現在)
延床面積	9,372.01 m <sup>2</sup> (令和 8 年 4 月 1 日現在)
建屋	鉄骨・鉄筋コンクリート造・地上 2 階・地下 1 階

#### (2) 設置・改修年月日

供用年月日	昭和 54 年 4 月
施設整備工事	平成 27 年 12 月 17 日～令和 3 年 6 月 30 日
工事名称	一宮浄化センター施設改修工事

#### (3) し尿処理施設概要 (現在)

処理能力	生し尿	105K1/日
	浄化槽汚泥	195K1/日
処理方式	前処理脱水+標準脱窒素処理方式	
放流先	公共下水道へ接続	
資源化方式	リン回収方式	
設備概要	別紙、パンフレットを参照	
放流水質	水素イオン濃度(PH)	5.0 以上 9.0 以下
	生物化学的酸素要求量(BOD)	600mg/L 以下
	浮遊物質(SS)	600mg/L 以下
	ノルマルヘキサン抽出物質 (鉱油類)	5mg/L 以下

ノルマルヘキサン抽出物質（動植物油脂類）	30mg/L 以下
窒素含有量(T-N)	80mg/L 以下
リン含有量(T-P)	8mg/L 以下

### 3. 検査について

本検査の方法は、「一般廃棄物処理事業に対する指導に伴う留意事項について（昭和52年11月 環整第95号）」に示された「一般廃棄物処理施設精密機能検査要領」に基づくとともに、詳細については本仕様書に定めるとおり。

#### (1) 一宮浄化センター施設改修工事後の処理能力および運転状況の検証について

検査（調査）は、書類調査及び現地検査を行い改修工事の要求能力（発注仕様書）と現状を比較し、し尿処理と浄化槽汚泥処理それぞれ、その結果を報告書としてとりまとめること。現地検査のうち、生物反応槽等の設備状況検査については、別紙(a)水質機能試験(分析)に定める指定箇所の水質分析を行うこと。併せて当センターが発注した下記の（岡山市提供資料）業務委託報告書ほかに基づき総合的に判断すること。

※（岡山市別途提供資料）業務委託報告書（令和5年から令和8年9月分）

- 一宮浄化センター生し尿等水質試験業務委託（報告書）
- 一宮浄化センター水質試験業務委託（報告書）
- 一宮浄化センター活性汚泥生物相試験業務委託（報告書）
- 一宮浄化センターMAP 性状分析業務委託（報告書）
- 一宮浄化センター自家用電気工作物保安管理業務委託（報告書）
- 運転管理委託業者による水質分析結果報告書
- 運転管理日誌ほか各設備の運転および維持管理に係る日誌
- データロガー保存の各種運転管理データ・日報・月報・年報
- 一宮浄化センター施設整備工事関係書類
- その他必要な書類

#### (2) 今後の施設運転管理に関する、適正かつ合理的な改善点の提案について

本検査対象施設は、昭和54年より供用開始し、平成27年12月17日～令和3年6月末の基幹改良工事（河川放流から公共下水道放流、リン回収設備の設置）を行い、前処理脱水＋標準脱窒素槽処理方式および資源回収対策等を実施している。

現状の処理施設運転状況（処理量・薬品使用量・電気使用量・プロセス水使用量ほか）を日報・月報・年報および運転管理日誌ほかで把握し、各機器の機能（性能）を、改修工事の性能発注仕様書と比較・確認し、効率的な運転管理を提案すること。

- (3) 機械設備・電気および計装設備の予防保全のための修繕計画の提案について  
本施設の予防保全のための修繕計画書を、別紙(b)「機器点検内容一覧表」に基づき現地調査を行い作成すること。そのために、施設の概要、運転、維持管理実績等の書類調査、設備状況（機器および配管材質）等の現地調査及び施設の機能に関する調査を行うこと。  
また、主要機器については振動測定・板厚測定等を実施し、機器の劣化状況を定量的に診断・判定を行い、適正な修繕計画の根拠資料となるよう取りまとめること。  
電気設備（各現場盤）については、設置環境、内部腐食等を調査すること。
- (4) 建築躯体の余寿命診断および、修繕計画の提案  
建築躯体の老朽度について現地調査し、屋上防水等も含め適切な補修等を提案すること。現地調査箇所は、管理棟・水処理棟・脱水設備棟・委託事務所棟・旧三次処理棟・笹ヶ瀬取水ポンプ室棟。

## 4. 検査の内容

### 4. 1 書類検査

- (1) 施設の概要  
施設の概要、一宮浄化センター施設改修工事内容について調査すること。
- (2) 運転管理実績
- ①運転管理実績
    - ・月別の搬入量・処理量・下水道放流量・MAP化率・脱水ケーキ搬出量（含水率）・電力量・雑用水量・薬品消費量・維持管理費等の実績を調査すること。
  - ②作業状況
    - ・搬入・前処理・脱水・水処理・脱水ケーキ搬出等の工程ごとに日常の作業状況を調査すること。また、処理棟内・汚泥脱水機棟の清掃、し渣除去装置・汚泥脱水機等の点検等定期作業の内容についても調査すること。
  - ③設備等の状況
    - ・修繕報告書、点検整備報告書より更新・修繕・整備の履歴を調査すること。
  - ④その他の事項
    - ・収集、処理、処分フローと各工程での処理量など
    - ・維持管理状況（運転体制、日常作業、定期作業、保守点検、管理計測、法定点検・検査、補修・改造 など）

### 4. 2 現地検査

- (1) 設備・装置等の調査  
設備・装置等の調査は、平常運転時及び夾雑物除去装置・汚泥脱水設備等が停止時に実施すること。

設備状況の把握にあたっては、本施設の主要設備・装置の内部・外部調査を実施し、「良」・「緊急に補修が必要」・「5年以内に補修が必要」・「要経過観察」の4ランクに分けて判定し、その箇所を表及び写真にて示すこと。

①土木・建築設備

- ・各設備において、亀裂・破損箇所の有無、不等沈下、漏水・浸水の有無等を調査すること。

②機械設備

し尿処理設備の主要機器について別紙(b)の項目に基づき以下の調査を実施すること。

- ・腐食、損傷の有無、装置の振動、異常音、その他軸受け等のオイル・グリスの補給状況等を調査すること。
- ・運転中の機器で、測定が可能な機器について振動測定を行うこと。
- ・停止時にコンベヤ等の搬送機器について、摺動部の摩耗、腐食、変形、損傷の状況を確認し、板厚の測定を行うこと。

③電気・計装設備

- ・動力制御盤・計装計器盤について、腐食、損傷の有無、異常音、温度の上昇、その他配線等の状況を調査すること。

④配管・弁類

- ・各設備について、腐食、損傷の有無、漏水・浸水の有無を調査すること。

(2) 運転状況検査

定常運転時において現地検査の当日の処理量、機器各部温度・異音等の発生状況、汚泥脱水作業状況及びプロセス管理状況等を把握・評価すること。なお、本検査は、汚泥脱水機・前処理設備運転日に実施することを原則とする。

(3) 水質機能試験検査

各試験検査は、別紙(a)水質機能試験(分析)示す項目及び検査場所とし、定常運転時に実施すること。

## 5. 報告内容

検査結果の報告内容は、以下のとおり。

1. 検査の目的
2. 施設の概要
3. 維持管理実績
  - 1) 搬入実績
  - 2) 運転実績
  - 3) 維持管理費
4. 維持管理状況
  - 1) 管理状況
  - 2) 定期点検状況
  - 3) 書類の記録、保存状況

- 5. 各工程の処理状況
  - 5.1 受入・貯留設備
    - 1) 維持管理実績
      - (1) 運転実績
      - (2) 主要整備経過
      - (3) 定期検査結果
    - 2) 維持管理状況
      - (1) 運転状況
      - (2) 水質分析状況
    - 3) 処理機能状況
    - 4) 設備状況
  - 5.2 前脱水分離設備
    - 1) 維持管理実績
      - (1) 運転実績
      - (2) 主要整備経過
      - (3) 定期検査結果
    - 2) 維持管理状況
      - (1) 運転状況
      - (2) 水質分析状況
    - 3) 処理機能状況
    - 4) 設備状況
  - 5.3 主処理設備
    - 1) 維持管理実績
      - (1) 運転実績
      - (2) 主要整備経過
      - (3) 定期検査結果
    - 2) 維持管理状況
      - (1) 運転状況
      - (2) 水質分析状況
    - 3) 処理機能状況
    - 4) 設備状況
  - 5.4 資源化設備
    - 1) 維持管理実績
      - (1) 運転実績
      - (2) 主要整備経過
      - (3) 定期検査結果
    - 2) 維持管理状況
      - (1) 運転状況
      - (2) 水質分析状況

- 3) 処理機能状況
- 4) 設備状況
- 5.5 脱臭設備
  - 1) 維持管理実績
    - (1) 運転実績
    - (2) 主要整備経過
    - (3) 定期検査結果
  - 2) 維持管理状況
    - (1) 運転状況
    - (2) 水質分析状況
  - 3) 処理機能状況
  - 4) 設備状況
6. 電気設備（現場制御盤）
7. 土木・建築躯体
  - 1) 維持管理実績
  - 2) 維持管理状況
8. 総括
9. 改善案について

## 6. 成果品

報告書は、以下のとおり製本し、提出すること。

- ・精密機能検査報告書      5部 A4版 くるみ製本
- ・関係資料                      調査写真、その他必要な資料

水質機能試験 (分析)

水質分析

試料名	分析項目	水温	PH	COD	BOD	SS	MLSS	ノルマルヘキサリン抽出物	ノルマルヘキサリン抽出物(鉱油サ	ノルマルヘキサリン抽出物(動植物油脂)	アンモニア性窒素	硝酸性窒素	亜硝酸性窒素	有機体窒素	全窒素	全リン	PO4-P	塩化物イオン	電気伝導率	蒸発残留物	強熱減量
	単位	℃		mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mS/m	mg/L	mass%
浄化槽汚泥		1	1	1	1	1		1	1	1	1				1	1	1	1	1	1	1
生し尿		1	1	1	1	1		1							1	1	1	1	1	1	1
し尿貯留槽		1	1	1	1	1					1	1	1	1	1	1		1			
浄化槽汚泥貯留槽		1	1	1	1	1					1	1	1	1	1	1		1			
し尿分離液槽		1	1	1	1	1					1	1	1	1	1	1		1			
浄化槽汚泥分離液槽		1	1	1	1	1					1	1	1	1	1	1		1			
放流水槽 (1回目)		1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1		1			
放流水槽 (2回目)		1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1		1			
放流水槽 (3回目)		1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1		1			
1系硝化槽		1	1	1	1		1				1	1	1	1	1	1		1			
2系硝化槽		1	1	1	1		1				1	1	1	1	1	1		1			
1系余剰汚泥		1	1	1	1	1					1	1	1	1	1	1					
2系余剰汚泥		1	1	1	1	1					1	1	1	1	1	1					
1系沈殿槽		1	1	1	1	1					1	1	1	1	1	1		1			
2系沈殿槽		1	1	1	1	1					1	1	1	1	1	1		1			
リン原水槽		1	1			1										1	1				
リン回収処理水槽		1	1			1										1	1				
雑排水槽		1	1	1	1	1					1	1	1	1	1	1					
プロセス用水槽		1	1	1	1	1									1			1			
項目別総検体数		19	19	17	17	17	2	2	4	4	15	14	14	14	17	18	4	14	2	2	2

脱水ケーキほか含水率試験

試料名	分析項目	含水率
	単位	%
し渣 (浄化槽汚泥夾雑物脱水装置)		1
し渣 (生し尿夾雑物脱水装置)		1
脱水汚泥 (No. 1脱水機)		1
脱水汚泥 (No. 2脱水機)		1
脱水汚泥 (No. 3脱水機)		1
項目別総検体数		5

臭気測定

試料名	分析項目	硫化水素	アンモニア
	単位	ppm	ppm
高濃度臭気 (生物脱臭塔入口)		1	1
高濃度臭気 (生物脱臭塔出口)		1	1
中濃度臭気 (薬液洗浄塔入口)		1	1
中濃度臭気 (中濃度活性炭吸着塔入口)		1	1
中濃度臭気 (中濃度活性炭吸着塔出口)		1	1
低濃度臭気 (低濃度活性炭吸着塔入口)		1	1
低濃度臭気 (低濃度活性炭吸着塔出口)		1	1
項目別総検体数		7	7

別紙(b) 機器点検内容一覧表

点検手法

目視点検： 外観からの目視を主とした設備状況確認を行うこと。

内部目視点検： 運転管理に支障のない箇所（水槽）の内部状況を確認すること。

運転状況確認： 運転温度、異音、の確認。機器類運転時の軸受の音聴棒等により確認。テストハンマーによるボルトの緩み、腐食等の確認。

板厚測定： 超音波板厚計を用いて、ケーシングの摩耗等を測定すること。

振動測定： 振動測定により、本体、モータ、軸受の診断を行うこと。 ポンプ・ブロワ等運転号機のみ測定

No.	設備 1	設備 2	機器名		数量	目視点検	運転状況確認		板厚測定	振動測定	修理方法		特 記	
							聴音	打音			分解整備	取替修理		
(1)	受入・貯留設備	搬入車床	1	計量機	1	基	○		○				鎌長製衡製・年間委託	
			2	搬入車床	1	式	○		○					
			3	搬入車床入口扉	1	基	○							
			4	搬入車床出口扉	1	〃	○							
			5	し尿投入口	5	箇所	○			○				
			6	浄化槽汚泥投入口	5	〃	○			○				
		生し尿用	7	し尿沈砂槽	1	槽	○							
			8	し尿受入槽	1	〃	○							
			9	し尿破砕機	2	台	○	○			○			破砕ポンプ定期修理
			10	し尿夾雑物除去装置	1	機	○	○			○			ドラムスクリーン
			11	し尿夾雑物脱水装置	1	〃	○	○			○			スクリープレス
			12	除渣し尿移送槽	1	槽	○	○						
			13	除渣し尿移送ポンプ	2	台	○	○			○			
			14	し尿貯留槽	1	槽	○							
			15	し尿攪拌移送ポンプ	2	台	○	○			○			
			16	し尿汚泥供給ポンプ	2	〃	○	○			○			
		浄化槽汚泥用	17	浄化槽汚泥沈砂槽	1	槽	○							
			18	浄化槽汚泥受入槽	1	〃	○							
			19	浄化槽汚泥破砕機	1	台	○	○						破砕ポンプ
			20	浄化槽汚泥夾雑物除去装置	1	機	○	○						ドラムスクリーン
			21	浄化槽汚泥夾雑物脱水装置	1	〃	○	○						スクリープレス
			22	除渣浄化槽汚泥移送槽	1	槽	○							
			23	除渣浄化槽汚泥移送ポンプ	2	台	○	○						
			24	浄化槽汚泥貯留槽 1	1	槽	○							
			25	浄化槽汚泥攪拌移送ポンプ	1	台	○	○						
			26	浄化槽汚泥汚泥供給ポンプ	3	台	○	○						
			27	浄化槽汚泥貯留槽 2	1	槽	○							
			28	浄化槽汚泥攪拌移送ポンプ	1	台	○	○						
		浄化槽汚泥ダンパー車用	29	ダンパー車受入装置	1	基	○	○						
			30	ダンパー車投入口	1	〃	○							
			31	ダンパー車用沈砂槽	1	槽	○							
			32	中継槽	1	〃	○							
			33	中継槽破砕機	2	台	○							
			34	沈砂分離液槽	1	槽	○							
			35	真空ポンプ	1	台	○	○						
			36	沈砂洗浄タンク	1	基	○							
			37	沈砂水切コンベア	1	〃	○				○			スクリーコンベア
			38	沈砂搬送装置	1	台	○				○			スネークコンベア
			39	沈砂貯留装置	1	基	○				○			
			40	沈砂洗浄棟消臭剤噴霧装置	1	台	○							
		共通設備	41	No.1夾雑物搬送装置	1	基	○				○			スネークコンベア
			42	No.2夾雑物搬送装置	1	〃	○				○			
			43	脱水し渣外機ホッパ	2	基	○				○			既設流用
			44	攪拌ブロワ	2	台	○	○						
			45	高圧温水洗浄装置	1	基	○	○						

No.	設備 1	設備 2	機器名		数量	目視点検	運転状況確認		板厚測定	振動測定	修理方法		特 記		
							聴音	打音			分解整備	取替修理			
(2)	前脱水分離設備	し尿汚泥 前脱水設備	46	No.1凝集反応槽	1	槽	○								
			47	No.1濃縮機	1	台	○	○							
			48	No.1汚泥脱水機	1	機	○	○					スクリープレス		
			49	No.1脱水機洗浄ポンプ	1	台	○	○							
			50	濃縮分離液移送槽	1	槽	○								
			51	濃縮分離液移送ポンプ	2	台	○	○							
			52	し尿分離液移送槽	1	槽	○								
			53	し尿分離液移送ポンプ	2	台	○	○							
			54	し尿分離液槽 1	1	槽	○								
			55	し尿分離液槽移送攪拌ポンプ	2	台	○	○							
			56	し尿分離液投入ポンプ	3	〃	○	○					一軸, 1.5KW, 4P		
			57	し尿分離液槽2	1	槽	○								
			58	し尿分離液槽移送攪拌ポンプ	2	〃	○	○							
			浄化槽汚泥汚泥 前脱水設備	59	No.2凝集反応槽	1	槽	○							
		60		No.2濃縮機	1	台	○	○							
		61		No.2汚泥脱水機	1	機	○	○					スクリープレス		
		62		No.2脱水機洗浄ポンプ	1	台	○	○							
		63		No.3凝集反応槽	1	槽	○								
		64		No.3濃縮機	1	台	○	○							
		65		No.3汚泥脱水機	1	機	○	○					スクリープレス		
		66		No.3脱水機洗浄ポンプ	1	台	○	○							
		67		浄化槽汚泥分離液移送槽	1	槽	○								
		68		浄化槽汚泥分離液移送ポンプ	2	台	○	○							
		69		浄化槽汚泥分離液槽1	1	槽	○								
		70		浄化槽汚泥分離液槽移送攪拌ポンプ	1	台	○	○							
		71		浄化槽汚泥分離液投入ポンプ	4	〃	○						一軸, 3.7KW, 4P		
		72		浄化槽汚泥分離液槽2	1	槽	○								
		73	浄化槽汚泥分離液槽移送攪拌ポンプ	1	台	○	○								
		74	浄化槽汚泥分離液槽3	1	槽	○									
		75	浄化槽汚泥分離液槽移送攪拌ポンプ	2	台	○	○								
		共通設備	76	汚泥処理棟空気圧縮機	2	台	○	○						定期点検	
			77	空気除湿機	1	台	○	○						定期点検	
			78	汚泥処理棟消臭剤噴霧装置	1	台	○	○							
		脱水汚泥 搬出設備	79	No.1脱水汚泥搬送装置	1	基	○	○		○				スクリーコンベア	
			80	No.2脱水汚泥搬送装置	1	〃	○	○		○				スネークコンベア	
			81	No.3脱水汚泥搬送装置	1	〃	○	○		○					
			82	脱水汚泥貯留装置	1	〃	○								
			83	脱水汚泥移送装置	1	〃	○			○					
			84	脱水汚泥外搬ホッパ	1	〃	○			○				既設流用	
		(3)	主(水)処理設備	1系	85	脱窒素槽	1	槽	○						
					86	硝化槽	1	〃	○						
					87	二次脱窒素槽	1	〃	○						
					88	再曝気槽・混和槽	1	〃	○						
					89	沈殿槽	1	〃	○						
90	硝化液移送ポンプ				2	台	○	○			○				
91	熱交換器				1	基	○								
92	返送汚泥ポンプ				2	台	○	○			○			一軸, 3.7KW, 4P	
93	余剰汚泥ポンプ				2	〃	○	○			○			1台既設整備流用	
94	脱窒素槽攪拌ブロワ				2	〃	○	○			○			1・2系共通37KW, 〃-7	
95	水取器				1	〃	○								
96	曝気ブロワ			3	〃	○				○			1・2系共通30KW, 〃-7		
97	沈殿槽掻寄装置			1	基	○	○	○							
2系	98			脱窒素槽	1	槽	○								
	99			硝化槽	1	〃	○								
	100			二次脱窒素槽	1	〃	○								
	101			再曝気槽・混和槽	1	〃	○								
	102			沈殿槽	1	〃	○								
	103			硝化液移送ポンプ	2	台	○	○			○				
	104			熱交換器	1	基	○								
105	返送汚泥ポンプ			2	台	○	○			○			一軸, 3.7KW, 4P		
106	余剰汚泥ポンプ			2	〃	○	○			○					
107	脱窒素槽攪拌ブロワ			2	〃	○	○			○					
108	水取器	1	〃	○											
109	沈殿槽掻寄装置	1	基	○	○										
共通設備	110	スカム槽	1	槽	○										
	111	スカムポンプ	2	台	○	○									
	112	冷却水ポンプ	3	〃	○	○									
	113	冷却塔	1	基	○										

No.	設備 1	設備 2	機器名		数量	目視点検	運転状況確認		板厚測定	振動測定	修理方法		特 記	
							聴音	打音			分解整備	取替修理		
(4)	放流設備		114	1系処理水槽 1	1	槽	○	○	○					
			115	1系処理水槽 2	1	槽	○							
			116	2系処理水槽 1	1	槽	○							
			117	2系処理水槽 2	1	槽	○							
			118	処理水槽	1	槽	○							
			119	処理水投入ポンプ	2	台	○	○						
			120	放流水槽	1	槽	○							
			121	生物脱臭塔補給水ポンプ	2	台	○	○						
			122	放流ポンプ	2	槽	○	○			○			
			123	全窒素・全リン測定装置	1	基	○							
(5)	資源化設備		124	リン原水槽	1	槽	○							
			125	リン回収メイン原水ポンプ	2	台	○	○					一軸, 2.2KW, 4P	
			126	リン回収サブ原水ポンプ	2	槽	○	○						
			127	MAP反応塔(メインリアクタ)	1	基	○						スケールの成長状況確認	
			128	MAP反応塔(サブリアクタ)	1	槽	○						スケールの成長状況確認	
			129	リン回収処理水槽	1	槽	○							
			130	リン回収処理水移送ポンプ	2	台	○	○						
			131	マグネシウム溶解槽	1	槽	○						攪拌機含む	
			132	リン回収メイン循環ポンプ	2	台	○	○						
			133	リン回収サブ循環ポンプ	2	槽	○	○						
			134	塔循環ポンプ	2	槽	○	○						
			135	リン回収設備空気圧縮機	2	槽	○	○					定期点検	
			136	リン回収設備空気除湿機	1	槽	○	○					定期点検	
			(6)	脱臭設備		137	生物脱臭塔	1	基	○				
138	生物脱臭塔ミストセパレータ	1				槽	○							
139	生物脱臭塔循環ポンプ	2				台	○	○						
140	高濃度臭気ファン	1				槽	○	○						
141	洗浄塔	1				基	○						酸・アルカリ	
142	洗浄塔ミストセパレータ	1				槽	○							
143	酸循環ポンプ	2				台	○	○						
144	アルカリ注入ポンプ循環ポンプ	2				槽	○	○						
145	中濃度脱臭ファン	1				槽	○	○						
146	低濃度脱臭ファン	1				槽	○	○						
147	低中濃度脱臭ファン	1				槽	○	○						
148	低濃度脱臭ミストセパレータ	1				基	○							
149	中濃度活性炭脱臭塔	1				槽	○							
150	低濃度活性炭脱臭塔	1				槽	○							
(7)	薬品注入設備	水(汚泥)処理用	151	無機凝集剤貯槽 (ポリ鉄L)	1	基	○						FRP製10m <sup>3</sup>	
			152	無機凝集剤注入ポンプ	2	台	○	○					(脱水機)濃縮槽へ	
			153	無機凝集剤注入ポンプ	3	槽	○	○					混和槽へ	
			154	凝集助剤溶解槽	3	槽	○						攪拌機含む。	
			155	凝集助剤注入ポンプ	5	槽	○	○					No.1, 2, 3凝集反応槽へ	
			156	水処理棟アルカリ貯槽 (25%苛性ソーダ)	1	基	○						FRP製7m <sup>3</sup>	
			157	リン回収アルカリ注入ポンプ	2	台	○	○					リン回収装置へ	
			158	主処理アルカリ注入ポンプ	3	槽	○	○					脱窒素槽へ	
			159	凝集アルカリ注入ポンプ	3	槽	○	○					混和槽へ	
			160	マグネシウム貯槽	1	基	○						FRP製4m <sup>3</sup>	
			161	マグネシウム注入ポンプ	2	台	○	○					リン回収装置へ	
			162	メタノール貯槽	1	基	○						鋼板製 9,600ℓ 既設流用	
			163	メタノール移送ポンプ	2	台	○	○						
			164	メタノール希釈槽	2	槽	○							
		165	脱窒素槽メタノール注入ポンプ	3	台	○	○							
		166	二次脱窒素槽メタノール注入ポンプ	3	槽	○	○							
		167	消泡剤貯槽	1	槽	○								
		168	消泡剤注入ポンプ	3	台	○	○							
		169	酸貯槽 (硫酸)	1	基	○						FRP製4m <sup>3</sup>		
		170	脱臭酸注入ポンプ	2	台	○	○							
171	脱臭アルカリ貯槽 (25%苛性ソーダ)	1	基	○						FRP製3m <sup>3</sup>				
172	脱臭アルカリ注入ポンプ	2	台	○	○									
173	次亜塩素酸ナトリウム貯留槽	1	基	○						FRP製10m <sup>3</sup>				
174	次亜塩素酸ナトリウム注入ポンプ	2	台	○	○									
175	スケール防止剤注入装置	1	基	○						洗浄塔へ				
(8)	処理棟給排気設備	給気設備	176	処理棟1F給気ファン(FS-B01)斜流型	1	台	○	○					6, 180m <sup>3</sup> /h, 200Pa 1.1Kw (B1F)	
			177	処理棟B1F給気ファン(FS-B01)斜流型	1	槽	○	○					6, 180m <sup>3</sup> /h, 200Pa 1.1Kw (B2F)	
			178	曝気ブロ給気ファン(FS-B02)	1	槽	○	○					#4 18,000m <sup>3</sup> /h, 250Pa 5.5Kw, 4P	
		179	処理棟給気ファン (FS-01)	1	槽	○	○					#1-1/2 2,000m <sup>3</sup> /h, 600Pa 1.5Kw, 4P		
		180	処理棟排気ファン (FE-01)	1	槽	○	○					#7, 36,000m <sup>3</sup> /h, 600Pa 11Kw, 4P		
		181	処理棟排気ファン (FE-02)	1	槽	○	○					#4-1/2 18,000m <sup>3</sup> /h, 300Pa 5.5Kw, 4P		
182	処理棟排気ファン (FE-03)	1	槽	○	○					#4-1/2 18,000m <sup>3</sup> /h, 300Pa 5.5Kw, 4P				

No.	設備 1	設備 2	機器名	数量	目視点検	運転状況確認		板厚測定	振動測定	修理方法		特 記	
						聴音	打音			分解整備	取替修理		
(9)		河川水ほか取水設備	183 場内井水取水ポンプ	1	台	○	○						
			184 新座主川取水ポンプ	2	〃	○	○						
			185 笹ヶ瀬川取水ポンプ	2	〃	○	○						
			186 沈砂槽 (自動スクリーン)	1	基	○	○						
			187 加圧水ポンプ	2	台	○	○						
			188 オートストレーナ	1	台	○							
			189 プロセス用水槽	1	槽	○							
			190 希釈水ポンプ	2	台	○	○						
			191 プロセス用水ポンプ	2	〃	○	○						
			192 FRP受水槽	1	槽	○						既設流用	
		193 加圧ポンプ	2	台	○	○					既設流用		
			上水加圧設備	194 上水受水槽	1	槽	○						
195 上水加圧ポンプ	2			台	○	○							
(10)	床排水設備	水 (汚泥) 処理用	196 汚泥処理棟床排水ポンプ	4	〃	○							
			197 管理棟床排水ポンプ	1	〃	○							
			198 沈砂洗浄棟床排水ポンプ	1	〃	○							
			199 水処理棟床排水ポンプ	2	〃	○							
			200 笹ヶ瀬取水ポンプ室床排水ポンプ	1	〃	○							
			201 雑排水槽1	1	槽	○							
			202 雑排水槽2	1	〃	○							
		203 雑排水ポンプ	3	台	○								
		脱臭設備用	204 脱臭設備排水ピット	1	槽	○							
			205 脱臭排水ポンプ	2	台	○							
(11)	建築躯体	206 管理棟屋根防水	1	棟	○	○					RC造		
		207 管理棟躯体	1	〃	○	○					〃		
		208 処理棟屋根防水	1	〃	○	○					〃		
		209 処理棟躯体耐震補強箇所	1	〃	○	○					鋼製プレス材		
		210 委託業者事務所棟	1	〃	○	○					〃		
		211 旧三次処理棟	1	〃	○						鉄骨ALC、折版屋根 (めくれあり)		
		212 笹ヶ瀬取水ポンプ棟	1	〃	○	○							
(12)	電気設備	電気室	213 高圧引込盤	1	面	○						(HP-1)	
			214 高圧受電盤	1	〃	○						(HP-2)	
			215 (No.1)500KVA変圧器1次盤	1	〃	○						(HP8-1)	
			216 (No.2)500KVA変圧器1次盤	1	〃	○							
			217 No.2高圧コンデンサ1次盤	1	〃	○						(HP-10)	
			218 No.3高圧コンデンサ1次盤	1	〃	○							
			219 No.2-3高圧コンデンサ盤	1	〃	○						(HP-11)	
			220 既設1次盤 (LBS切 不使用)	1	〃							(HP8-2)	
			221 (No.2)500KVA動力主幹盤	1	〃	○						(HP-12)	
			222 共通動力変圧器一次盤	1	〃	○						(HP-4)	
			223 照明変圧器盤	1	〃	○						(HP-8)	
			224 照明主幹盤	1	〃	○						(HP-7)	
			225 No.1高圧コンデンサ盤	1	〃	○						(HP-3)	
			226 (No.1)500KVA動力主幹盤	1	〃	○						(HP-9)	
			227 共通動力主幹盤	1	〃	○						(HP-6)	
		屋外	228 非常用発電設備	1	〃	○						440V, 300KVA	
		〈HP-12〉関係 現場盤	229 No.1汚泥脱水機動力制御盤	1	〃	○						(P6-1)	
			230 No.2汚泥脱水機動力制御盤	1	〃	○						(P6-2)	
			231 No.3汚泥脱水機動力制御盤	1	〃	○						(P6-3)	
			232 No.1水処理棟地下動力制御盤	1	〃	○						(P2)	
			233 No.2水処理棟地下動力制御盤	1	〃	○						(P3)	
			234 No.1水処理棟1階動力制御盤	1	〃	○						(P4)	
			235 No.2水処理棟2階動力制御盤	1	〃	○						(P5)	
			236 沈砂洗浄機動力制御盤	1	〃	○						(P8)	
			237 沈砂池動力制御盤	1	〃	○						(P10)	
			238 取水ポンプ (新座主川)制御盤	1	〃	○						(P11)	
		239 笹ヶ瀬川取水ポンプ制御盤	1	〃	○						(P12)		
〈HP-9〉関係 現場盤	240 管理棟動力制御盤	1	〃	○						(P1)			
	241 汚泥処理棟動力制御盤	1	〃	○						(P7)			
	242 脱臭設備動力制御盤	1	〃	○						(P9)			
	243 脱臭設備動力制御盤(2)	1	〃	○						(P9A)			
	244 水処理棟建築動力盤(1)	1	〃	○						(1P-1)			
	245 水処理棟建築動力盤(2)	1	〃	○						(1P-2)			
〈HP-6〉関係 現場盤	246 汚泥処理棟建築動力盤	1	〃	○						(P1)			
	247 笹ヶ瀬川取水ポンプ制御盤	1	〃	○						(P12)			